



ヘルメットのシェルは、ガラス繊維一つでも、仮成型品、マット形状、クロス織など、箇所に適した加工を施したうえで、その他様々な材料を組み合わせ、シェルが成形されていきます。その中でも、特筆すべきは、**アライのみが使用するスーパーファイバーベルト**です。スーパーファイバーをシート

ベルトの様に織り込み、シェルに挿(たが)を占めるように成形しています。前頭部窓開口部など、面積狭く、衝撃が集中しやすい箇所などを、しっかりと補強しているのです。頭を護りたい。その二心で、アライは見えない部分に、工夫を積み重ねています。アライの違いは、**見えない箇所に込められているのです。**



しかし、これほどのスーパーファイバーを使う取り組みは、**規格以上のものを求めるアライならではの**のかもしれません。通常の**グラスファイバーの6倍にも**なります。しっかりとした技術の裏付けがなければ、宝の持ち腐れになってしまいます。



高くとも、軽量のシェルをつくり上げるのに、欠かせない素材です。ただし、優れたスーパーファイバーでも、特別な技術を加えなければ、成形したシェルが優れた性能を発揮する事はできません。また、スーパーファイバーの**コストは通常のグラスファイバーの6倍にも**なります。腐れになってしまいます。

そのヘルメットに適したグラスファイバーにも、**アライは特殊な、通称スーパーファイバーを採用しています。**スーパーファイバーの特性は、通常のグラスファイバーよりも、**弾性・剛性30%**高いもので、スネル規格取得に必要な、剛性

高級ヘルメットには、シェルの素材にグラスファイバー(ガラス繊維)が使用されているのは知られています。グラスファイバーの特性は、ある程度強く、粘り強さを合わせ持つことがヘルメットの素材として優れている点です。特殊繊維には様々なものがありますが、強ければ弾性に欠け、弾性良ければ強さが足りないなど、なかなかそれを凌ぐものはありません。

**アライの違いは、
見えない箇所に込められています。**